

# Shin Club 45

楳辰 通信 Vol. 45  
2003年12月  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-47F  
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450  
編集発行人: 松村典子

## 今月のトーク 「R」

家具製造販売、室内デザインを手がける「イデー」は、2年ほど前から東京都心部の再生を図る「IDÉE R-project (イデアールプロジェクト)」という、リノベーション(修復)事業を展開してきました。例えば廃墟として見捨てられていたオフィスビルをリフォームして、キッチンやシャワーのついたSOHOにしたり、ギャラリーにしたりして、新しい価値を見出すことを提案しています。今回ご紹介する「IDÉE ROOMS UEHARA(イデアールーム上原)<日美ビル>」は、「そこに住む人のライフスタイルからイメージしてデザインする」という、新たなプロジェクト「IDÉE ROOMS」の第1号として、辰が施工しました。総合企画は開地総合企画です。デザインディレクションを手がけた「IDÉE R-project」の倉持正之氏にお話を伺いました。

—新聞や雑誌でリノベーションがだいぶ取り上げられていますね。

倉持: ええ、いろいろお話をいただいておりますが、「IDÉE R-project」が提案しているのは、むしろ「Re-think(再考する)」ということなのです。「オフィスビルを住居に転用する」とか、「流行になっているので」と不動産物件を持ち込まれて、必要もないのにただ転用すればいいと勘違いされていることも少なくない。でもわれわれの提案は「いろんな意味でのカタチを考え直す姿勢そのもの」ですね。例えば「オフィスビルを住居に転用する」ときに、そのメリット

を考えるとします。多くの方が、経済的効率や稼働率など、既成のものからなかなか抜け出せない。それだけではない別の価値があるではないか—それをわかりやすい形で人に伝えていくことが大切です。利益もあがり、世の中のためになる、そういう意味付けをこれからは自分で作り出していかなければならない。我々はトータルで状況をデザインすることにこだわっているのです。

—今回「IDÉE ROOMS」という、新築の賃貸住宅を提供する新たな一歩を踏み出しました。

倉持: コンクリートの打ち放しや吹き抜けの空間、ガラス張りのトイレのマンションが流行っていますが、建物自体の空間をデザインするより、生活そのものをデザインする方が大事じゃないか、と我々は考えるわけです。「UEHARA」も建築として完璧じゃなくてもいいという思いがある。建物をカタチ作っていくのは、住まい手であり、提供する環境です。シンプルなデザインの建物の中に、住居やテナント、それらをどういうふうに営業するのか、生活にどう関わるのかを一つ一つデザインしていきたい。

「UEHARA」では、そこに暮らす人のために、1階に飲食店を入れました。人気の代々木上原というスポットです。居住者は帰宅も夜遅くなりがちで、家に帰ったら「何かちょっと食べたいな」という気分になる。さっぱりと蕎麦でも食べて休みたい、でも普通の蕎麦屋は夜8時には閉めてしまう、そんなときおいしい蕎麦屋が近くにあったら便利でしょう。そして休日、遅く起きて、オーガニックな食材の店でゆっくりと朝食を摂

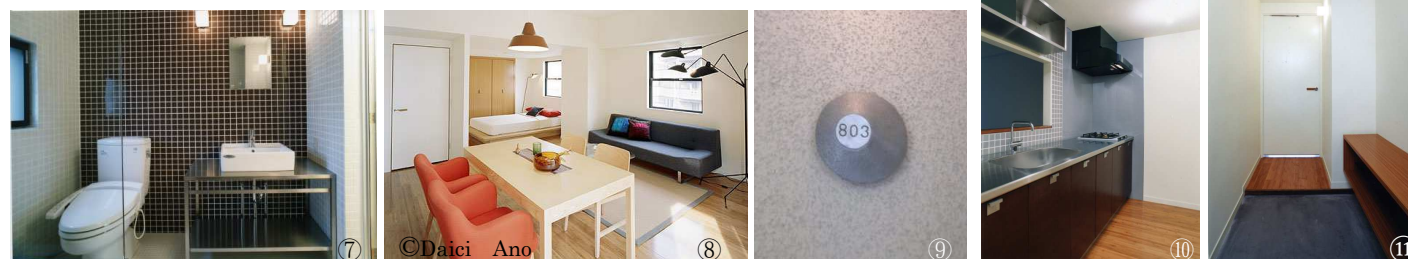
る、そんな暮らしをイメージしています。

※1階の「O.R.G. food bar」は、平日は深夜まで、週末は朝からの営業時間となっており、まさに「地域密着型の food bar」になっている。また飲食プロデューサー中村悌二氏の手がけた、蕎麦屋「山都」では、おいしい蕎麦だけでなく、日本酒も楽しめる酒肴が用意されている。

—話題は変わりますが、「IDÉE R-project」を始め、IDÉEに倉持さんのように若い人が集まる秘密とは何なのか、聞かせてもらえますか。

倉持: もちろん、社長(黒崎輝男氏)の個人的な魅力はありま

す。既存情報に振り回されない、バランス感覚がよく、好奇心は旺盛だし、情報をキープする力がある。加えて、会社が大きくなっても企業体質にならない、ということがあげられます。例えば、TDBなどを見てもらってもわかりませんが、黒崎の展開する仕組みは、企業というシステムにとらわれないこと。自分をはじめ、Rにはもともと独立して仕事をしてきたスタッフが多く、ひとつの組織に属していながら自分で何かをしようという気持ちが旺盛で、それが強みになっているように思います。常に本質を共有しあっているか、確認をしています。実は飲み会であつたりするわけですが(笑)、徹底的に話し合う。社会的コンバージョン(変換)の波が顕著であり、一方でリノベーション(修復)の



⑦C-typeのバスルーム。タイルの色づかい、洗面台のデザインが新しい。⑧C-typeリビングルーム。イデーの家具が入ったモデルルーム。竹のフローリングは清潔で特有の堅牢さがある。⑨803号室の玄関プレート。イデー特製。⑩C-typeキッチン。イデー特注色のレンジフード。扉・引手

## TOPICS

### 「田園調布 M邸 引渡し」(11月19日) 世田谷区

田園調布の高台に「日本式アメリカ住宅」が建ちあがりました。オーナーはアメリカ人、厨房には故郷アメリカの家具職人に依頼した注文家具が入りました。茶室もあります。



### 「ユニーブル武蔵小金井Ⅱ引渡し」(11月18日) 武蔵小金井市

JR武蔵小金井駅から徒歩2分、周辺はマンションが立ち並んでいますが、南西側は広い駐輪場で、日当たりは抜群です。



構造: RC造 地上9階  
用途: 共同住宅

### 「離れ和室のある住宅 引渡し」(10月24日) 川崎市

東側に公園のある緑豊かな環境。ファイバーグレーティングの日よけ、大きな屋根と2階の壁の間はスリット窓と、自然をふんだんに感じられる心地よい住宅です。ガルスパンの外壁が落ち着いた雰囲気をもし出しています。



構造: RC造+S造 地上2階、地下1階

### 「神宮前5179計画 内覧会」(12月13日) 渋谷区

裏原宿のキャットストリートの近くに、地下に店舗、1階に貸室2室、2階にオーナー住宅が入る複合ビルが出来上がりました。

採光のいきとどいた室内、ダイナミックな屋上のデッキなど、密集地にもかかわらず、快適な空間です。



<内覧会>  
12月13日(土)13:00から17:00まで  
内覧会を開催します。詳しくは弊社HPの「イベントのご案内」をご参照ください。  
<http://www.esna.co.jp/index.html>



構造: RC造 地上9階  
用途: 共同住宅  
設計: 梅高山企画設計  
総合企画: (株)開地総合企画  
企画・デザインディレク

①外観: 井の頭通りに面する2つの棟。地上9階建て。クリームと焦げ茶色の外壁。②2階パブリックスペース③エントランスホール: 古材をあしらったオブジェの壁。ソファスペースは古木風フローリング。④エントランスホールの表通り側。左側のエントランスとはセキュリティシステム

## WHAT'S NEW

~from this month's magazine~

●『新建築』2003.12 (新建築社)  
「TRIO」(代田集合住宅) <p.124-129>

特集「集合住宅は変わるか-長屋再考」の中で紹介されています。設計の千葉学氏のコメントをご覧いただけます。

## INFORMATION

●一斉冬季休暇 12月30日(火)~1月4日(日)までを一斉冬季休暇とさせていただきます。